

生駒市文化財保護審議会会議録 要点筆記

- 1 開催日時 平成27年5月28日(木) 午前9時30分～11時
- 2 開催場所 生駒ふるさとミュージアム 多目的室
- 3 出席者 (委員) 今木委員 谷山委員 中谷委員 藤澤委員 吉川委員
(事務局) 中田教育長 奥畑生涯学習部長 西野生涯学習課長 錦生涯学習課長補佐
吉田生涯学習文化係長 三木主査 岡本副主事
塩山生駒ふるさとミュージアム館長
- 4 会議の公開・非公開 公開 傍聴人 なし
- 5 委嘱式 委嘱期間 平成27年5月25日から平成30年5月24日

教育長あいさつ

各委員スピーチ

6 議事

(1) 役員改選

会長及び副会長選出

→今木会長、藤澤副会長選出

(2) 平成26年度事業報告及び平成27年度事業計画について

(3) 市民と歴史文化～生駒ふるさとミュージアムの一層の活性化について～

(4) その他

7 審議内容

◎平成26年度事業報告及び平成27年度事業計画について

事務局(課長) 伊行氏関連石造遺物群を3月23日に生駒市指定有形文化財に指定したことを報告

(岡本・館長) 資料説明

谷山委員 古文書調査について、報告書の作成は4までできている。次の分、中地区のまとめが、今年度の予算で難しければ次年度で検討を依頼

事務局(補佐) 今年度中に編集会議等を持って来年度執行の製本でと返答

吉川委員 高山城跡遊歩道管理事業について、高山城跡は未指定なのに管理・保全していく中で遊歩道の位置づけについての質問

事務局(補佐) 高山城跡は市内108の遺跡の一つで、郭がありその1つが民家の裏庭を通過して見学

される人が多く、民家の方に迷惑を掛ける。地元からの要望、地元から土地の寄贈もあり城跡のぐるりを回れる遊歩道を整備してハイカーなどの見学もスムーズに行くように整備したと説明

吉川委員 将来的にきっちりと保全することを考えて、急がなくてもいいが計画を立てることが必要と考える。

今木会長 高山城跡の南側、急な坂のところに縄が張ってあることについて、危険防止のため立ち入りできないようにしているのか質問

事務局(補佐) 一昨年台風でくえたところがあり、一時的に縄を張り対処と回答

◎市民と歴史文化～生駒ふるさとミュージアムの一層の活性化について～

事務局(部長) 市民に対して生駒の歴史・文化を発信する拠点となるミュージアムのより一層の活性化を図るために委員の方々から提案・アイデアをいただきたい旨を説明

谷山委員 来館者に対してアンケートを実施して、年齢、地域、どういう媒体で企画をしたのか等データ収集し、その上で対策を講じることの必要性を要望
来館者数集計表について、普段見ていたらあまり人けのないように感じられ、1日平均33人という来館者数を不思議に感じるため説明を要求

事務局(館長) 来館者数の説明、12月は選挙の投票所のため投票に来られた方が展示室を見学、1～3月はイベント・特別展示のため来館者数が多かったと説明

谷山委員 生駒駅から少し距離があり、年配の方などがミュージアムに来やすい状況を市として作り出すことが重要と考える。

藤澤副会長 路線バスの復活、路線バスを通す効果的な方法について検討を。

事務局(館長) アンケートの件で積極的に窓口でアンケートをとり、分析すると回答

今木会長 アンケート用紙のフォームについて、あるなら各委員へ配布を。

谷山委員 他なら運営委員会がありその場にアンケートの集計が出て、それを基にこれからについて議論されるので、データの提示が必要と考える。

今木会長 多目的室で広報などで案内した講座に来た人から道が分からなかったという人がいる。ミュージアムのPR、駅からの案内が必要と考える。

吉川委員 史跡・文化財のスタンプラリーの有無について質問

事務局(課長) 特になし、学校単位で見学に来られた場合、クイズ形式などでやっているところはあると回答

吉川委員 スタンプラリーは、管理、スタンプ代、記念品代等費用は掛かるが、講師は必要なく参加者がコースを回ってもらえる。そのコースにミュージアムを入れておくことで市民に関心を持たせることができる。

中谷委員 小学校の校長会のときにPRして、何校かでも応じてもらえたことは良かった。

南第二小学校は萩の台の保存館に見学に来ていたが、最近来ないと思っていたらこちらに来ていた。このような見学を広げてもらって、例年のごとくというようになればすごく良いと思う。

PRの仕方について、生涯学習課に関係のある会やグループに配布すれば老若男女に行き渡る。

路線バスが通るようにお願いしたい。

谷山委員 講演会の件で、開催場所をたけまるホールやセイセイビルなどの行きやすい場所に参加費も安くして行い、ミュージアムのカウントとするなどし、多くの人に来てそこでPRして終了後ミュージアムへ行ってもらおう。PRの仕方、工夫次第である。

今木会長 アンケート用紙について、字が小さくもう少し工夫が必要である。

谷山委員 歴史文化ハンドブックの改訂について、講演会をリレー講座のように古代史・考古学に限定せず歴史をおって行い、その成果を改訂につなげることは次年度以降可能と考えるので検討を。

吉川委員 改訂ではなくターゲットを変えて小中学生向けなどを作成したらどうか。

藤澤副会長 各調査に一般の方も参加できるよう募集して行ったら関心が高まる。

◎その他

事務局(係長) 請書に記名・捺印のお願い

吉川委員 議事録について、文体の統一

今木会長 委員は命令調、事務局は丁寧な言い方であるので、同意見である。

事務局(補佐) 議事録の表記を議事要旨に変更し、簡素化する旨説明

閉 会

以上